

## 【概要】

御蔵島は東京から南に約200kmの海上、三宅島の南18km、黒潮本流の真っ只中に位置しています。周囲16.4km、面積約20.58km<sup>2</sup>(港区とほぼ同じ面積)の島です。中央に標高851mの御山を有し、周りを断崖に囲まれたその形状は、「お椀を伏せたよう」とよく形容されます。

平坦地が少なく、急峻な地形はスタジイ、タブノキ等の森林に覆われ幹周りが3mを超える巨樹が島内に点在しています。

スタジイ林はオオミズナギドリの世界有数の繁殖地となっており、沿岸海域は世界でも有数のミナミハンドウイルカの生息地として有名です。また、ニオイエビネランの原生地として知られています。

温暖多雨な海洋性気候で豊富な水を利用した、伊豆諸島で唯一水力発電施設があります。

### 交通

- 船 東京・竹芝桟橋から大型客船(夜行)で約7時間35分
- 飛行機 大島からヘリコプターで約35分  
八丈島から25分

### 人口(平成20年1月現在)

276人

### 学校数(平成20年度)

- ・小学校 1校 児童数 19人
- ・中学校 1校 生徒数 7人

## 【産業・産物】

農林業・・・急峻な地形のため、耕作できる農地が少なく特産のエビネランの他は自給用のイモ類、野菜類の栽培が主である。

一方、森林資源に恵まれ、良質なツゲ、クワが産出されることから、林業が盛んで天然物に加え、古くから植林が行われ、今でも主要製品となっている。

農産物の生産額(平成18年)

産物	生産額(千円)
あしたば	13,000
エビネラン	12,000
サトイモ	8,000
ジャガイモ	5,000
サカキ(榊)	1,000
林産物	16,000
その他	1,000
計	56,000



エビネラン

## 【特産品】

## ●ツゲ(柘植)製品

御蔵島に原生しているツゲを利用した木工製品です。こけし、将棋の駒、表札、印鑑などがあります。

## ●源水

御蔵島は伊豆諸島で、わき水が産出する唯一の島として知られています。御蔵島は水の豊富な島です。大島分川おおしまわけがわ(御蔵島村字川田)の水は美味しいと評判で、ミネラルウォーターとして販売されています。

## 【伝統・文化】

この辺りの黒潮の流れは速く、黒瀬川と呼ばれ海の難所ともなっています。その反面、昔から関東より西の海上で遭難すると漂流して流れ着くことができる日本最後の岬がこの御蔵島、三宅島、八丈島の島々であったため、この地理的要因が「漂流した人々は必ず助ける」というヒューマニズムをこの島々にもたらしました。

## ●行事

## ・先祖祭 3/18～24、9/20～26

春秋のお彼岸の中日に祖霊社へお参りをし、先祖の霊を慰めています。これを「先祖祭り」といいます。先祖は前日の夜、家に帰ってくるといわれ、それぞれの家が先祖を迎えるため、たくさんの食べ物や飲み物を用意します。

そして当日の早朝一家そろって墓参りにでかけ、その後、祖霊社において神主の指揮のもとに先祖の霊を慰めるお祭りが行われます。この祭りには来賓のほか、数えて15歳になる女の子が招かれ、着物を着て参加する方も多くいて、お祭りを華やかなものとしています。また、お祭りがおわると、境内に来ている子供たちにお餅やお菓子がまかれるので、それを拾いにいくことが島の子供のひとつの楽しみになっています。



## ●郷土料理

## ・揚げ餅

サツマイモの餅を揚げたもの



揚げ餅入り吸い物